



平成25年度
国内と諸外国における公衆無線LANの提供状況及び
訪日外国人旅行者のICTサービスに関するニーズの調査研究

日本および諸外国の公衆無線LANサービスの提供状況概況
(概要資料)

日本および諸外国の公衆無線LANサービスの 提供状況概況

国内の無料公衆無線LANの提供主体

提供主体	内容
電気通信事業者	<p>主として、公衆無線LAN事業者やFTTHサービスを提供する固定通信事業者がエリアオーナーと設備構築の契約を結び、ユーザに無料で公衆無線LANサービスを提供している。</p> <p><NTT系> NTTブロードバンドプラットフォーム (NTT BP) →NTTグループの公衆無線LAN事業者として、空港、駅、コンビニ等でサービスを提供。 NTT東日本、NTT西日本・NTTメディアサプライ →FTTHサービス「フレッツ光」導入店舗等に無料公衆無線LANの提供が可能なアクセスポイントを貸与。また、自治体と連携する事例も多い。</p> <p><KDDI系> ワイヤ・アンド・ワイヤレス →KDDIグループの公衆無線LAN事業者として、空港、バス、カフェ等でサービスを提供。</p>
エリアオーナー	<p>中部国際空港、関西国際空港など、一部のエリアオーナーは、自ら設備を構築し、無料公衆無線LANサービスを提供している。</p>

国内の無料公衆無線LANの提供場所①

場所	概要
空港	<p>国内97空港（拠点空港28、地方管理空港54、その他空港及び共用空港15）のうち、54空港で利用可能（複数事業者が提供する空港も存在） <提供主体> NTT BP：8空港（成田国際空港、東京国際空港、大阪国際空港、中部国際空港、新千歳空港、仙台空港、有明佐賀空港、那覇空港） FREESPOT協議会：44空港 独自インフラ：関西国際空港など10空港。うち中部国際空港はNTT BPと独自インフラ併用、福岡空港など自治体提供サービスの一部として提供されるものが4空港。</p>
鉄道	<p>JR東日本、JR東海、JR西日本、東京地下鉄道会社（東京メトロ）、京浜急行電鉄、阪急阪神ホールディングス（阪急電鉄及び阪神電気鉄道をはじめとするグループ全駅（157駅）および9施設）で利用可能。 ※ 調査対象：46事業者（JR（6社）、その他私鉄（23社）、公営事業者（17社））</p>
自治体・観光地	<p><東京> 銀座通り、晴海通り：“G Free”（（社）銀座連合会） 台場、青海、有明：ソフトバンクモバイル <大阪> 空中庭園展望台、通天閣等（計350ヶ所）：大阪観光局等 <その他> 世界文化遺産「中尊寺」近辺や白川郷の周辺の総合案内所、道の駅等で利用可能。また、福岡市等では自治体が主導してサービスが提供されている。</p>

国内の無料公衆無線LANの提供場所②

場所	概要
<p>宿泊施設</p>	<p>全国の4,482施設で、FREESPOT協議会の提供サービスを利用可能。 <各ホテルチェーンの対応状況> 東横イン: 全240施設のほぼ全て(ロビー及び全客室) APAホテル: 全222施設中114施設 ホテルモントレ: 18施設 リッチモンドホテル: 36施設 チサンイン(ソラーレホテルズ & リゾーツグループ): 22施設</p>
<p>店舗等</p>	<p><コンビニエンスストア ※2014年3月時点> セブンイレブン: 約14,000店舗※1 ファミリーマート: 約9,600店舗 ローソン: 約10,500店舗 <スーパー等> イオングループ: 2016年度までに約1,600店舗※2での提供を予定。 <その他 ※2014年3月時点> スターバックス: 985店舗※3 紀伊國屋書店: 53店舗 ※1 スーパー(イトーヨーカドー)等グループの他業態も含む ※2 2014年度中にイオン約500店舗、2016年度までにマックスバリュなど食品スーパー約1,100店舗に展開 ※3 ワイヤ・アンド・ワイヤレス提供</p>

国内の無料公衆無線LANにおける提供事業者の利用手続

テーマ	内容
利用手続	<p>メールアドレスの登録を求める例が大半。その他、エリアオーナーの意向に基づき、氏名等についても登録を求める例がある。</p> <p><NTT BP></p> <p>メールアドレスと氏名を登録し、利用規約及びセキュリティ警告に同意した上で利用可能。</p> <p>※1 Japan Connected-free Wi-Fi</p> <p>一度登録手続(メールアドレス、氏名、性別等のユーザ登録)を済ませることで、同社が提供している複数のエリアにおいて、新たな個別の登録手続なしに利用可能なスマートフォン用アプリ</p> <p>※2 メールアドレス以外に氏名や誕生日を入力するものもある。</p> <p><ワイヤ・アンド・ワイヤレス ※スターバックスの場合></p> <p>登録ウェブサイトアクセスし、メールアドレスの登録及びパスワードの設定を行い、利用規約に同意した上で登録をすることで、自動送付されたメールに付与されているIDを用いて利用可能。</p> <p><NTT東日本 ※光ステーションの場合></p> <p>ポータルサイトにて、メールアドレス及びパスワードを仮登録後、自動送付されたメールの指示に従い、本登録を行うことで利用可能。</p> <p>光ステーションサービスについては、他の場所でも再登録せず利用可能。初回は仮登録状態でも利用可能。</p>

諸外国の無料公衆無線LANサービスの提供主体

国名	概要
アメリカ	<p><政府・自治体(自ら提供)>ワシントンDC(322AP) その他、事業者に対して料金負担をするスキーム(ミネアポリス市(117AP)、サンノゼ市)等がある <事業者>AT&T:McDonald's、書店等の提携店舗で提供(全3.2万AP中約2万AP)、Google:Starbucks約7,000店舗(AT&Tより移管中)、マウンテンビュー市(500AP)、サンフランシスコ市(31施設)等から請負で提供。 その他、ケーブルテレビ会社による提供あり</p>
イギリス	<p><政府・自治体(事業者が提供)>ロンドン市(市内4区)、ウェストミンスター市等3都市(Arqiva、O2へ運営許可、費用は負担していない)※AP数非公表 <事業者> BT:デパート、ホテル(4,200AP(FONのAP数を加えると全500万APにのぼるが、無料利用者は限定)) The Cloud:カフェ、スーパー、飲食店等(約2万AP)、O2:McDonald's等735店舗(1.5万AP)、Arqiva:17空港、ロンドン市内、ホテル等(1.5万AP)</p>
フランス	<p><政府・自治体(事業者の料金負担等)>フランス観光開発機構:公園、美術館、シャンゼリゼ通り等(323AP) <事業者>France Telecom-Orangeが、Starbucks等の提携店舗で提供(約1,000施設)。</p>
韓国	<p><政府・自治体(事業者の料金負担等)> 韓国通信委員会、国内17自治体、携帯3社「Public Wi-Fi」(2,000AP)※費用を3者折半、釜山市「Dynamic Busan」(観光スポット70AP及びバス車内2,473台)※費用一部負担 ※「Seoul Wi-Fi」(688AP)は、携帯3社(KT、SK Telecom、LG U+)が提供(PR活動はソウル市が主導) <事業者>KT、SK Telecom、LG U+(携帯会社)が、提携店舗等で提供(全社合計32万APの約1割)。</p>
台湾	<p><政府・自治体(事業者の料金負担等)>台湾観光局、台湾観光協会「iTaiwan(愛台湾)」(約5,100AP)及び新北市「New Taipei WiFi」(2,050AP)(携帯事業者がインフラ提供) ※台北市「Taipei Free」(4,500AP)は安源通迅が提供(PR活動は台北市が主導)。 <事業者>調査対象では無料提供なし。</p>
中国	<p><政府・自治体(事業者の料金負担等)>上海市「i-Shanghai(愛上海)」(450AP)、北京市「My beijing」(104AP)、杭州市「i-hangzhou」(3,000AP)が存在(携帯事業者がインフラ提供) <事業者>中国移动、中国联通、中国电信(携帯会社)等が提携店舗等で提供(AP数非公表)</p>

諸外国の無料公衆無線LANサービスの設置場所①

国名	概要
アメリカ	<p>空 港：国内全ての空港(539空港)のうち、年間旅客数上位20空港及びAT&T社提供空港の計53空港を調査。15空港で無料提供を確認。</p> <p>交通機関：地下鉄(ニューヨーク市都市交通局)駅内、高速鉄道(アセラ・エクスプレス)及び長距離バス(megabus)の車内で提供。</p> <p>その他：一般店舗(McDonald'sやStarbucksなど)、Walt Disney World、ニューヨーク近代美術館で提供。</p>
イギリス	<p>空 港：国内全ての空港(58空港)のうち、年間旅客数上位30空港をはじめ計33空港を調査。20空港で無料提供を確認。</p> <p>交通機関：都市鉄道(ロンドン交通局およびNetworkRail社)では駅内、空港鉄道(ヒースロー・エクスプレス)では車内で提供。</p> <p>その他：デパート(Debenhamsなど)やスーパーマーケット(Tescoなど)、大手カフェチェーン(Starbucksなど)で提供。</p>
フランス	<p>空 港：国内全ての空港(42空港)のうち、年間旅客数上位20空港をはじめ計25空港を調査。15空港で無料提供を確認。</p> <p>交通機関：地下鉄(パリ交通公団(RATP))の主要駅や都市鉄道(フランス国鉄(SNCF))でも2014年3月から提供開始。</p> <p>その他：StarbucksやMcDonald'sなどのチェーン店に加え、Hotcafe社によってパリ市周辺の飲食店などで提供。</p>

諸外国の無料公衆無線LANサービスの設置場所②

国名	概要
韓国	<p>空 港: 全ての民間空港(15空港)で提供を確認。</p> <p>交通機関: 空港アクセス(仁川空港鉄道や仁川空港リムジンバスの車内)、路線バス(釜山市内バスの車内)</p> <p>その他 : 観光スポット(ソウル市東大門総合市場、釜山市の24名所)</p>
台湾	<p>空 港: 国内全ての空港(15空港)を調査。うち、3空港(桃園国際空港、台北松山空港及び金門空港)で提供を確認</p> <p>交通機関: 都市鉄道(台北市鉄道(MRT) 駅内)、路線バス(台北市バスの車内及びバス停)</p> <p>その他 : 国立故宮博物院及び台北101ビル等の観光スポットで施設が主体となって無料公衆無線LANを提供</p>
中国	<p>空 港: 国内全ての空港(180空港)のうち、6空港を調査。上海虹橋空港、北京首都国際空港など6空港すべてで提供を確認。</p> <p>交通機関: 路線バス(北京公共交通グループ)で「e路wifi」を提供</p> <p>その他 : 上海や北京では、ショッピングモールや観光スポットで提供されている。ただし、StarbucksやMcDonald'sに代表される中国全土に展開されているチェーン店であっても、北部と南部の店舗ではインフラ提供事業者は異なるケースが多い。</p>

諸外国の無料公衆無線LANサービスの利用手順

国名	概要
アメリカ	Google Wi-Fiでは「Googleアカウント」の作成が義務付けられる。AT&Tやケーブルテレビ会社が提供するサービスでは、利用規約への同意で接続が可能。一部、ラスベガス・マッカラン空港等でメールアドレス入力が必要な事例もある。
イギリス	The Cloud、BT Wi-fi、O2Wifi及びArqivaでは、利用の際にメールアドレスの入力を求める。その他、The CloudとO2Wifiは電話番号の入力を求める「SMS認証方式」があり、2回目以降は自動接続が可能になる。
フランス	「Paris Wi-Fi」は、ログインIDやメールアドレスなどの登録が必要。Starbucksなどの飲食店では、店舗からログインIDとパスワードを入手し、接続。
韓国	「Seoul WiFi」、「Public WiFi」、「Dynamic Busan」、KT、SK Telecom、LG U+の提供するサービスは、SSIDの選択、利用規約の同意で接続が可能。
台湾	「Taipei Free」、「iTaiwan」は、現地の携帯電話を保有しない旅行者は空港や旅客サービスセンターでパスポートを用いたアカウント申請により利用可能。
中国	SMSによりパスワードを受信し接続する必要があるため、中国の携帯電話回線が必須。外国人旅行者はレンタル携帯電話またはレンタルSIMカードの調達が必要。